

「存じ」ですか？ 重陽の節句



秋のひな飾り



秋の栗ご飯膳

重陽の節句について

9月9日は「重陽」と呼ばれ、陽の気が最も高まる日と考えられました。このため、災厄を避け、幸運を招くための様々な儀式が行われました。奈良時代ごろから、宮廷や武家社会を中心に広まりました。

いるデイでは、今年初めて重陽の節句をお祝いしました。雛人形は、もともと3月3日の桃の節句に飾られるものですが、重陽の節句にも、【大人の女性の節句】として秋にも雛人形を飾る風習があります。

また、この日には栗ご飯膳を準備しました。栗は秋の味覚の一つで、その豊かな風味は利用者たちに季節の訪れを感じさせました。栗ご飯は、栄養価も高く、体力をつけるためにも最適な料理です。